

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 1年 12月 31日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100579		
法人名	有限会社百樹		
事業所名	グループホーム百樹		
所在地	〒734-0053 広島市南区青崎2丁目15-2 (電話) 082-236-1527		
自己評価作成日	令和1年11月15日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490100579-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和1年12月17日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

グループホームの特性である家庭的な雰囲気を大切にしながらも、個々の利用者の認知レベル・身体的レベルの維持・向上を目指して介助しております。日々の介助の中で利用者の出来る事に着目しご本人の尊厳に配慮しながら職員と共に生活しております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

理念を基に一人ひとりの尊厳と感謝する気持ちを大切に、利用者のできることに着目した自立支援を基本として展開している。自分でできることは自身で行えるケアを実践するとともに、筋力などの維持、向上が図られるように、午前、午後と1日2回体操、レクリエーションを実施し取り組んでいる。地域の祭りに参加することや近隣の保育園、幼稚園への行事参加や事業所に来てもらうことなど日常的に地域とのふれあいをもち交流を深めている。また、敷地内に複数の施設があり、認知症カフェの取り組みや利用者同士の交流、行事の企画などお互いに連携、協力を行いながら実施している。施設内外の研修、伝達研修においても職員全員が毎都度復命書を提出する取り組みにて、一人ひとりが理解を深めスキルアップの向上に繋がっている。看取りの実践にも尽力している。

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「感謝の心で共に働き生きる」という我が社の理念を職員と共有するために朝礼時に唱和を行っています。毎日の介護を行う上でも利用者様に感謝の心を持って接するように職員一同心掛けています。	高齢者への尊厳と感謝の気持ちを込めた理念であり、職員は朝礼で唱和にて周知を徹底しケアの実践に繋げている。会社より年度初めに事業目標と理念についての振り返りが行われ、今年度は「介護技術の向上」であり、研修参加に力を入れている。社内研修では職員全員が復命書を提出する取り組みにて、一人ひとりの理解やスキルアップに繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の行事に参加させて頂いております(地域のお祭りや運動会など)また、青崎保育所とは交流で行き来させて頂いております。また、ご近所の方にボランティアによる朗読会を行っていただき、楽しいひと時を持たせて頂いております。	近所の公園に気軽に散歩を行い挨拶など地域住民とのふれあいを持つことや地域のお祭りで事業所に寄っていただくこと、幼稚園との交流も定期的に行なわれるなど交流を深めている。法人が主体となり認知症カフェを実施しており利用者も参加することや、中学校の職場体験の受け入れなど多くの取り組みがある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の相談窓口として、地域住民の方々のご相談に応えたり認知症についてのかかわりなどお問い合わせいただきました折にはアドバイスさせて頂いております。認知症サポーター養成講座のお手伝いをさせて頂いております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に一度の運営推進会議を通しグループホームでの皆様の暮らし方について報告を行い参加頂いた方からの意見を頂き日々の介護に反映させて頂いております。利用者の方と都合のついた家族の方に参加頂き生の声を聞いていただいております。	併設の小規模多機能型居宅介護と合同で運営推進会議を行っている。会議には利用者、地区会長や副会長、民生委員、地域包括支援センターなどの参加があり、運営や事業の報告を行う他、地域の情報や行事の案内など情報や意見交換の機会となっている。	家族の参加が難しく乏しい状況であるので、運営推進会議への周知や理解が深まるように会議議事録を全家族に送付することや、話が出やすいようにテーマを設けるなど工夫を検討していくことで、様々な見地の方の参加を得ながら意見の反映をしていくことを期待します。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議には地域包括支援センターの職員様に出席をお願いし会議後には開催状況記録をFAXにて送信させて頂いております。民生委員の方や町内会の役員の方からも意見を伺っております。	運営推進会議にて地域包括支援センターとの情報交換が行われており、生活保護課ケースワーカーと利用者の事での連携が図られている。市が主催の研修会に積極的に参加することや認知症サポーター研修にも協力を行うなどある。認知症カフェも地域包括支援センターの要請により実現し取り組みが重ねられている。	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	年2回は必ず社内研修を行い理解を深めるよう指導しております。外部研修にも出来るだけ参加し、参加した職員から他職員にフィードバックしてもらいます。玄関の鍵については夜間は防犯のために施錠しております。	年2回の社内研修や外部研修、身体拘束廃止委員会の活動を通して職員個々に理解を深め実践している。言葉による抑制にも管理者は細心の注意を払い指導を行い、職員同士でも注意し合える雰囲気を作られている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待についても年に2回は社内研修を行い防止に努めております。声掛けについても注意を払うよう指導しております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修があれば参加するようにして制度や仕組みについて勉強し知識の向上や支援につなげております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には利用者様ご家族様ともに重要事項説明書の書類について説明を行いご不明な点があればご納得いただけるように説明をさせて頂いております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご利用者様ご家族様との関りの中で出てきたご要望に関しては出来るだけ誠意を持ってお応えするように心がけております。職員にもご家族様からのご要望があった場合にはきちんと報告するように指導しております。	家族の面会時や電話連絡などで意見や要望を確認している。利用者には日々の関わりから要望など確認を行っており、希望にできるだけ応えられるよう対応している。歯科医院の受診において通うことや車椅子での通院が難しかったことから往診してもらえるように変更した例がある。	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員会議を通じて職員の意見を聞くようにしております。必要に応じて個別に話しを聞くようにしております。	職員会議にて活発な意見交換を行っている。管理者も勤務上日常の業務に入ることが多くあり、常時職員の意見や気付きなどを聞くことができている。その中で利用者のケアに関して細部の内容の改善や、家庭での事情に勤務を調整したり、休憩時間の調整を行ったことなど意見が反映されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	定期的な自己目標の設定や自己評価や勤務査定を行っております。職場環境についても職員会議を行い見直しを行っております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	毎月社内研修を行い介護技術や知識の向上を図っております。社外の研修も希望に応じて申し込んでおります。社長による若手社員の研修も行っております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	他事業所とは交流を持ち意見の交換を行っております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	事前面接を行い、ご本人様、ご家族様の不安やご要望を伺っております。入居後も施設での生活に慣れるまで様子に注意しケアプランの変更を行っております。		

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	事前面接時に話を伺い介護の方針について相談の上決めさせて頂いております。入居後も変化があればご連絡させて頂いております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人様、ご家族様の意見と状態をしっかりと見極めニーズを掘り起こしケアの方針を協議しております。ご本人の変化に合わせた柔軟な対応を心掛けております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	日々の暮らしを通して一緒に笑いあえる関係を築いております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご利用者様に変化のあった時はご家族様に連絡を取り協力を仰ぎ共にご利用者様を支援するように努めております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご本人様、ご家族様の要望をお伺いし、出来るだけ意向に沿うよう施設で対応出来る事に関しては柔軟に対応させて頂いております。電話、手紙、面会などは、お取次ぎしております。	利用者個人の生活歴や好きだったことに着目し、手紙のやり取りや、縫物が好きな方には裁縫で作品を作ること、馴染みの病院に継続して通院できるなど個別の支援を行っている。又、家族の協力を得ながら家に帰り落ち着く時間を過ごしたり、墓参りなどの外出支援も行っている。	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>ご利用者様同士で良好な関係が作れるように、色々イベントの計画を立ててご利用者様同士が協力して行ったり、顔なじみになれるよう工夫しております。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>退所後も居宅支援事業所を通じてご家族様との関わりを大切にし、疑問や不安な点があれば対応させていただきます。</p>		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>職員の担当を設け、ご利用者様にしっかりと寄り添い希望や意見を伺える関係づくりに努めております。</p>	<p>利用者の担当職員を決めており、日頃の関わりや利用者個々に様子をしっかりと見ていくことで、思いや意向を深くまで掘り下げ把握に努めている。知り得た情報は申し送りでの伝達や申し送りノート、ケア記録に記載など行い職員全員が情報の共有が行える様にしている。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>事前面接時に入居以前のご生活についてもお伺いしこれまでの経過の把握に努めております。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>毎日のご本人との関わりの中で小さな変化にも対応できるようミーティングなどを通して職員間での情報共有に努めております。</p>		

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>アセスメント時にご本人様・ご家族様と話し、今必要なケアについて意見やご要望を確認し、出来るだけケアプランに反映させて頂いております。</p>	<p>担当職員がモニタリングを行い、把握した情報を元に、主治医や訪問看護とも連携しチームとしてのプラン作成を行っている。家族よりできるだけ自分でできることをさせて欲しいとの希望に、着替えを自身で頑張るなど利用者が自身でできる力、残存機能にしっかり着目し捉えたプラン作成となっている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の様子や変化などは記録に残し、職員間での情報の共有を行い問題点は、話し合いより良い介護を行うよう努力しております。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご本人様としっかりコミュニケーションを取りご本人様のニーズには出来るだけ柔軟に対応するようサービスの提案をさせて頂いております。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域のイベントには出来るだけ参加し季節の移り変わりを感じて頂いたり、地域の方との触れ合いを楽しんで頂いております。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>事前面接時に医療について話し合いご本人様・ご家族様の意見に添う医療を受けられるように支援しています。医療連携を取っている内科より往診もあり、ご希望により、皮膚科・歯科の往診も受ける事ができる体制を取っております。</p>	<p>今までの主治医も選ぶことができるが、2週間に1回定期的な往診があるため、ほとんどの利用者が事業所の協力医に変更している。皮膚科、歯科の往診もあり、家族の協力を得ながら専門医の受診も行っている。協力医、訪問看護との連携により適切な医療を安心して受けることができる体制がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>週に一度訪問看護ステーションより、訪問を受けバイタル測定や健康相談・医師の指示による採血など行っております。ご利用者様の健康状態の把握に努め、医師に報告し連携を取っております。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には医師の紹介状と施設より情報提供を行い治療に支障の出る事の無いよう努めております。状況に応じて病院にも伺わせていただきます。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居前の事前面接時に重度化への指針や緊急時の体制等についてお話をさせていただいております。終末期には再度ご家族様の意向を確認とご本人様の意向を確認し、意思を尊重したいと思っております。</p>	<p>入居時に重度化対応、看取りに関する指針を説明し、年1回看取りの研修も実施している。実際にその状態になった時には再度治療に対するアンケートと説明を行い、意向や思いを確認し取り組んでいる。協力医と24時間連絡がとれ、医師、看護師と連携しチームで対応し、利用者や家族の思いに添えるよう支援している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>緊急時の対応についての研修を行っております。事故が起きた時は事故委員会を開き原因・今後の対応について話し合いを持ち、再発防止に努めております。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>定期的に防災訓練を行い、消防署にも依頼し、訓練・指導を行っております。</p>	<p>年2回消防署の立会いの下、避難訓練を実施している。その内1回は夜間想定にて実施し、併設の小規模多機能型居宅介護事業所と合同にて協力し行っている。災害別のマニュアルもそれぞれに整備しており、備蓄も水やレトルト食など非常食を準備しており非常時に備えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	接遇マナーについても研修を行い、職員にはご利用者様に寄り添うような対応をするよう指導しております。	個人を尊重することを意識し、排泄時は本人の自尊心を傷つけないように声掛けをしたり、ドアをノックするなど基本的な対応に気配りをして実践している。職員同士でも話を行うなどお互いに気をつけられることが習慣化している。書類も出しっぱなしにしないように注意を払い取り扱いを徹底している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	職員の気持ちを押し付ける事の無いよう注意し、ご本人様の意向を引き出せるような声掛けを行うように努めております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご本人様の意見を無視する事の無いよう、希望を聞きながら、支援するよう努めております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご本人様の希望を聞きながら、難しい所をお手伝いするよう心掛けて支援しております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	楽しく落ち着いて、食事ができるような環境を整え、食事後は台拭きやトレーの片づけなど無理のない範囲で手伝って頂いております。また、イベントでも皆で食事を作る企画の際は、皮むきなども出来る方にしていただき、楽しんで頂いております。	食材業者から食材とレシピが届き、容易に料理が行え、食事の盛りつけや食事後の片付けなど利用者ができることは無理なく一緒に行っている。誕生日にはケーキでお祝いや、月1回ホットプレートを使ってお好み焼きを焼いたりと特別食を行い、食事が楽しみなように支援している。	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>ご本人様の状態に合わせた形態にするように、食べやすく刻んだり、おかゆやとろみミキサー食などの対応もしております。食事以外も十時・三時・入浴後等にしっかり水分が取れるよう声掛けも行っております。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後口腔ケアを行っております。希望により訪問歯科の往診も行っております。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄記録を付け、個々の排泄パターンを把握し、その方に合わせたトイレ誘導の声掛けや、パットの交換を行い、快適に過ごして頂けるよう努めております。接遇マナーの研修時に、自尊心を傷つけない声掛けについての指導をしております。</p>	<p>日々の排泄記録を基に利用者の排泄パターンを詳しく把握し支援することで、入所して間もない時では失禁が多かった方が失禁を減らせていけた実践例がある。夜間のみポータブルトイレの使用や、足台にて踏ん張れるように工夫するなど個々に合わせた取り組みにて、利用者が快適に過ごせるように努めている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>水分摂取を心掛け午前午後共に運動の時間を設け、自然の排泄を目指しております。個々の排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行っておりますが、体調・体質により、どうしても便秘がちな方はドクターに相談の上対応しております。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>基本入浴日は設定しておりますが、順番や時間等は出来るだけご本人様のご希望に沿うように対応しております。</p>	<p>週2回を基本とし、利用者個々の意向、様子に合わせ実施している。湯船にゆったり入っていただけるように意識して取り組み、その時の状況に応じて順番や時間を考えるなど、利用者自身のペースで気持ち良く入れるよう工夫している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	居室内の環境に気を配り安眠できるように配慮しております。夜間しっかり眠れるように、体操等を行い日中は活動的に過ごして頂いております。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	すぐに確認できるようにお薬情報はファイルし、変化があれば職員に周知するようにしております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	個々の状態に合わせて施設内での役割を持って頂いたり、体力や認知能力を保つ為に個別にレクリエーションを行っております。外出の要望にも出来るだけお応えしております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	職員の数の問題もあり全てにお応えはできませんが外に出たいと言う希望には出来るだけ短い時間でも外に出るよう対応しております。気候の良い時期には中庭に移動してレクを行ったり、公園に出かけたりしております。遠くへの外出についてはご家族様に連絡して対応をお願いしております。	本人の意向や気候に応じて近隣の公園など散歩に出掛けたり、中庭に出てレクを行い気分転換を行ったりとしている。季節により行事で桜、紅葉狩りの外出をしたり、保育園の行事に参加することもある。家族の協力も得ながら外出で自宅に帰ったり、外食も行うなど日常的に外出が行えるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	利用開始時に金銭管理についてはご本人、ご家族に説明を行いご本人にあった方法での支援を行っております。		

自己評価	外部評価	項目(Aユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご希望により対応致します。届いた手紙はご本人様にお渡しし、読むのが難しい方については職員が了解の上で読んで差し上げる事もあります。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	清潔で生活しやすい空間を作る為に各居室や共有スペースなどの掃除はマニュアル作成し毎日掃除をしております。浴室も冬場などは寒くないよう温度管理しております。季節の装飾を職員と一緒に作って居室やホールに飾って楽しんでおります。	季節の花が飾られており、利用者の意向、状態を考えながらテーブルの配置を行い、適切な位置にソファを配置するなど、居心地よく過ごせるよう工夫している。季節感が感じられる飾りつけや壁には利用者が作った制作物が飾られており、家庭的な雰囲気の共有空間となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	スペースに限りはありますがご利用者様同士の相性等も考慮し、お席の配置を考えております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	利用開始時にご本人様の思い出の品や、写真などを飾って頂いたり、施設に入居されてからも、レクの時間に作った壁飾りや、交流のある保育園の園児から頂いた飾りを壁に飾り思い思いにくつろげる空間を作るよう心掛けております。	昔はどんな生活をしていたかしっかり話を聞きながら環境を整えていき、使い慣れた物や必要な物品など自由に持ち込みが可能である。タンスや仏壇、ぬいぐるみなど馴染みのものなど持ち込みがあり、家族の写真などを飾ったり、本人が居心地よく過ごせるよう環境を工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	必要な場所には手すりを設置し、出来るだけ独歩できる環境を作っております。安全に配慮しながら手を出し過ぎない介護を心掛けております。		

V アウトカム項目(Aユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「感謝の心で共に働き生きる」という我が社の理念を職員と共有するために朝礼時に唱和を行っています。毎日の介護を行う上でも利用者様に感謝の心を持って接するように職員一同心掛けています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の行事に参加させて頂いております(地域のお祭りや運動会など)また、青崎保育所とは交流で行き来させて頂いております。また、ご近所の方にボランティアによる朗読会を行っていただき、楽しいひと時を持たせて頂いております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の相談窓口として、地域住民の方々のご相談に応えたり認知症についてのかかわりなどお問い合わせいただきました折にはアドバイスさせて頂いております。認知症サポーター養成講座のお手伝いをさせて頂いております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に一度の運営推進会議を通しグループホームでの皆様の暮らし方について報告を行い参加頂いた方からの意見を頂き日々の介護に反映させて頂いております。利用者の方と都合のついた家族の方に参加頂き生の声を聞いていただいております。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議には地域包括支援センターの職員様に出席をお願いし会議後には開催状況記録をFAXにて送信させて頂いております。民生委員の方や町内会の役員の方からも意見を伺っております。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	年2回は必ず社内研修を行い理解を深めるよう指導しております。外部研修にも出来るだけ参加し、参加した職員から他職員にフィードバックしてもらっています。玄関の鍵については夜間は防犯のために施錠しております。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待についても年に2回は社内研修を行い防止に努めております。声掛けについても注意を払うよう指導しております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修があれば参加するようにして制度や仕組みについて勉強し知識の向上や支援につなげております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には利用者様ご家族様ともに重要事項説明書の書類について説明を行いご不明な点があればご納得いただけるように説明をさせて頂いております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご利用者様ご家族様との関りの中で出てきたご要望に関しては出来るだけ誠意を持ってお応えするように心がけております。職員にもご家族様からのご要望があった場合にはきちんと報告するように指導しております。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員会議を通じて職員の意見を聞くようにしております。必要に応じて個別に話しを聞くようにしております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	定期的な自己目標の設定や自己評価や勤務査定を行っております。職場環境についても職員会議を行い見直しを行っております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	毎月社内研修を行い介護技術や知識の向上を図っております。社外の研修も希望に応じて申し込んでおります。社長による若手社員の研修も行っております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	他事業所とは交流を持ち意見の交換を行っております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	事前面接を行い、ご本人様、ご家族様の不安やご要望を伺っております。入居後も施設での生活に慣れるまで様子に注意しケアプランの変更を行っております。		

自己 評価	外部 評価	項 目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	事前面接時に話を伺い介護の方針について相談の上決めさせて頂いております。入居後も変化があればご連絡させて頂いております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	御本人様、ご家族様の意見と状態をしっかりと見極めニーズを掘り起こしケアの方針を協議しております。ご本人の変化に合わせた柔軟な対応を心掛けております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	日々の暮らしを通して一緒に笑いあえる関係を築いております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご利用者様に変化のあった時はご家族様に連絡を取り協力を仰ぎ共にご利用者様を支援するように努めております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご本人様、ご家族様の要望をお伺いし、出来るだけ意向に沿うよう施設で対応出来る事に関しては柔軟に対応させて頂いております。電話、手紙、面会などは、お取次ぎしております。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者様同士で良好な関係が作れるように色々イベントの計画を立てて利用者様同士が協力して行ったり、顔なじみになれるよう工夫しております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退所後も居宅支援事業所を通じてご家族様との関わりを大切にし、疑問や不安な点があれば対応させていただきます。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	職員の担当を設け、ご利用者様にしっかりと寄り添い希望や意見を伺える関係づくりに努めております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	事前面接時に入居以前のご生活についてもお伺いしこれまでの経過の把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日のご本人との関わりの中で小さな変化にも対応できるようミーティングなどを通して職員間での情報共有に努めております。		

自己評価	外部評価	項 目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	アセスメント時にご本人・ご家族と話しをし、今必要なケアについて意見やご要望を確認し、出来るだけケアプランに反映させて頂いております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の様子や変化などは記録に残し、職員間での情報の共有を行い問題点は、話し合いより良い介護を行うよう努力しております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ご本人としっかりコミュニケーションを取りご本人のニーズには出来るだけ柔軟に対応するようサービスの提案をさせて頂いております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域のイベントには出来るだけ参加し季節の移り変わりを感じて頂いたり、地域の方との触れ合いを楽しんで頂いております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	事前面接時に医療について話し合いご本人様・ご家族様の意見に添う医療を受けられるように支援しています。医療連携を取っている内科よりの往診もあり、ご希望により、皮膚科・歯科の往診も受ける事ができる体制を取っております。		

自己評価	外部評価	項 目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週に一度訪問看護ステーションより、訪問を受けバイタル測定や健康相談・医師の指示による採血など行っております。利用者様の健康状態の把握に努め、ドクターに報告し連携を取っております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはドクターの紹介状と施設より情報提供を行い治療に支障の出る事の無いよう努めております。状況に応じて病院にも伺わせていただきます。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居前の事前面接時に重度化への指針や緊急時の体制等についてお話をさせていただいております。終末期には再度ご家族様の意向を確認とご本人様の意向を確認し、意思を尊重したいと思っております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時の対応についての研修を行っております。事故が起きた時は事故委員会を開き原因・今後の対応について話し合いを持ち、再発防止に努めております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	定期的に防災訓練を行い、消防署にも依頼し、訓練・指導を行っております。		

自己評価	外部評価	項目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	接遇マナーについても研修を行い、職員にはご利用者様に寄り添うような対応をするよう指導しております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	職員の気持ちを押し付ける事の無いよう注意し、ご本人様の意向を引き出せるような声掛けを行うように努めております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご本人様の意見を無視する事の無いよう、希望を聞きながら、支援するよう努めております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご本人様の希望を聞きながら、難しい所をお手伝いするよう心掛けて支援しております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	楽しく落ち着いて、食事ができるような環境を整え、食事後は台拭きやトレーの片づけなど無理のない範囲で手伝って頂いております。また、イベントでも皆で食事を作る企画の際は、皮むきなども出来る方にしていただき、楽しんで頂いております。		

自己評価	外部評価	項 目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>ご本人様の状態に合わせた形態にするように、食べやすく刻んだり、おかゆやとろみミキサー食などの対応もしております。食事以外も十時・三時・入浴後等にしっかり水分が取れるよう声掛けも行っております。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後口腔ケアを行っております。希望により訪問歯科の往診も行っております。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄記録を付け、個々の排泄パターンを把握し、その方に合わせたトイレ誘導の声掛けや、パットの交換を行い、快適に過ごして頂けるよう努めております。接遇マナーの研修時に、自尊心を傷つけない声掛けについての指導を行っております。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>水分摂取を心掛け午前午後共に運動の時間を設け、自然の排泄を目指しております。個々の排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行っておりますが、体調・体質により、どうしても便秘がちな方はドクターに相談の上対応しております。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>基本入浴日は設定しておりますが、順番や時間等は出来るだけご本人様の希望に沿うように対応しております。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>居室内の環境に気を配り安眠できるように配慮しております。夜間しっかり眠れるように、体操等を行い日中は活動的に過ごして頂いております。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>すぐに確認できるようにお薬情報はファイルし、変化があれば職員に周知するようにしております。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>個々の状態に合わせて施設内での役割を持って頂いたり、体力や認知能力を保つ為に個別にレクリエーションを行っております。外出の要望にも出来るだけお応えしております。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>職員の数の問題もあり全てにお応えはできませんが外に出たいと言う希望には出来るだけ短い時間でも外に出るよう対応しております。気候の良い時期には中庭に移動してレクを行ったり、公園に出かけたりしております。遠くへの外出についてはご家族に連絡して対応をお願いしております。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>利用開始時に金銭管理についてはご本人、ご家族に説明を行いご本人にあった方法での支援を行っております。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(Bユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご希望により対応致します。届いた手紙はご本人お渡しし、読むのが難し方については職員が了解の上で読んで差し上げる事もあります。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	清潔で生活しやすい空間を作る為に各居室や共有スペースなどの掃除はマニュアル作成し毎日掃除をしております。浴室も冬場などは寒くないよう温度管理しております。季節の装飾を職員と一緒に作って居室やホールに飾って楽しんでおります。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	スペースに限りはありますがご利用者様同士の相性等も考慮し、お席の配置を考えております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	利用開始時にご本人様の思い出の品や、写真などを飾って頂いたり、施設に入居されてからも、レクの時間に作った壁飾りや、交流のある保育園の園児から頂いた飾りを壁に飾り思い思いにくつろげる空間を作るよう心掛けております		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	必要な場所には手すりを設置し、出来るだけ独歩できる環境を作っております。安全に配慮しながら手を出し過ぎない介護を心掛けております。		

V アウトカム項目(Bユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム百樹

作成日 R2年2月10日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	ご家族様や地域の方との交流が少ない。	運営推進会議を通じて、ご家族様や地域の方との関係を密にする。	顔を合わせた時や電話で話をする時などに運営推進会議の説明を行い出席につなげる。	1年
2	2	ボランティア等地域資源の活用が少ない。	地域の方々と交流を深め、ボランティアの受け入れを行う。	運営推進会議など地域の方と話が出来る場でボランティアについての情報を頂くなどして利用者の皆様のためのボランティアを受け入れを行う。	1年
3	5	虐待や拘束等は行っていないが、グレーゾーンと言われる物について徹底されていない。	グレーゾーンの行為も行わない。	研修を通じて職員に虐待と拘束についての知識を周知する。	1年
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。